平成25年度　Ｄブロック勉強会　アクションプラン

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成26年2月6日（木）

◆個人で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

残薬確認と対応が上手くいかない。

　　　確認を嫌がられる、持参してこない。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　が問題

◆班で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

アドヒアランス不良による服用忘れ（医師に知られたくない）

残薬を持参しない（持ってくるのを忘れる、確保しておきたい薬がある）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　が問題

◆アクションプラン

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |  |
| --- | --- |
| D4-a班 | 目標：残薬確認をスムーズに行う |

　　目標にいたる具体的な解決策

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| いつ（実施時期） | 明日から | 誰が（実施主体） | 薬局全体で |
| 誰に（働きかけ先） | 患者さんに |
| どのように（方法） | 服用　普段から病識、薬識の理解が良くなるような服薬指導をする。回数の少ない用法へ変更してもらう。服用を忘れたときの対処法まで説明する。服用忘れを否定しない、服用ができたら褒める。持参持参すれば、負担金を安くすることもできる（処方日数調整）医療費削減の話をする。残った薬を間違って服用すると危険なこともある。残薬持参に感謝を伝える。 |
| 備考 | 残薬の対応について。回収するだけでは残薬は減らない。アドヒアランスの向上による服用順守が必要。受診間隔が早かったり、処方変更のときが、しっかり状況を確認するきっかけになりやすい。 |

 |

◆振り返り

D4-aは勤務歴の長い薬剤師が多いので、普段からコミュニケートがとれている。ディスカッションもスムーズにはじめられたが、年配者が「決まり」を忘れてしまう場面もあり。アクションラーニングの形式には程遠い形であったが、全員発言はできました。今後も回数を重ねればさらに成果をだせるものと感じました。